

令和4年12月1日

宮崎中央農業協同組合

## お客さま本位の業務運営に関する取組方針

JAグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

また、JA宮崎中央では以下の4つを基本理念として掲げ、尽力しております。

1. 地域農業の振興と農家所得の向上を基本としたJA経営を目指します。
2. 積極的にJA改革を推進し、「まごころ日本一のJA」の確立を目指します。
3. 地域における存在価値を認識し、地域との共存共栄を目指します。
4. JAとしての機能を生かして農家組合員の生活文化向上を目指します。

当組合では、この理念のもと、2017年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するため、以下の取組方針を制定いたしました。

今後、本方針に基づく取組みの状況を定期的に公表するとともに、よりお客さま本位の業務運営を実現するため本方針を必要に応じて見直してまいります。

### 1. お客さまへの最適な商品提供

- (1) お客さまに提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、多数の運用会社の商品を比較し、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、安定型から積極型まで商品の重複感を避け、わかりやすい商品ラインアップで、お客さまの多様なニーズにお応えできるものを選定します。なお当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2、3)】

### 2. お客さま本位のご提案と情報提供

- (1) 単に商品を勧めるのではなく、お客様との対話を重ねたうえで、金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて、お客さまにふさわしい商品をご提案いたします。【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- (2)お客様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について重要情報シート等を用いて分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供します。特に高齢のお客様に対しては役席者の同席や適合性の判定により理解度を十分に確認しながら丁寧な説明を実施いたします。【原則4、原則5本文および(注1~5)、原則6および(注1、2、4、5)】
- (3)お客様にご負担いただく手数料について、お客様の投資判断に資するように、丁寧かつ分かりやすい説明に努めます。【原則4、原則5本文および(注1~5)、原則6および(注1、2、4、5)】
- (4)お客様が資産形成を行なっていくうえで、重要な税制優遇制度(つみたてNISA・iDeCo等)についても説明資料を用い、わかりやすくご案内いたします。【原則5本文および(注1~5)、原則6および(注1、2、4、5)】

### 3. 利益相反の適切な管理

- (1)お客様への商品選定や情報提供にあたり、お客様の利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理します。【原則3本文および(注)】

### 4. お客様本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

- (1)内部管理者・営業責任者業務の研修システムを利用したeラーニング受講や外部講師を招いての研修、また、農林中央金庫から1年間、インストラクターを招き、金融渉外・窓口担当者がお客様の総合的な金融ニーズの相談に応じ、提案できる職員の育成を目的とした、資産形成サポートプログラムを導入しております。これらは高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客様本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。【原則2本文および(注)、原則6(注5)、原則7本文および(注)】

(※)上記の原則および注番号は、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」(2021年1月改訂)との対応を示しています。